(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2009-295141
(P2009-295141A)
(43)公開日　平成21年12月17日(2009.12.17)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
G06Q 40/00	(2006.01)	G06F 17/60	234A	
		G06F 17/60	228	

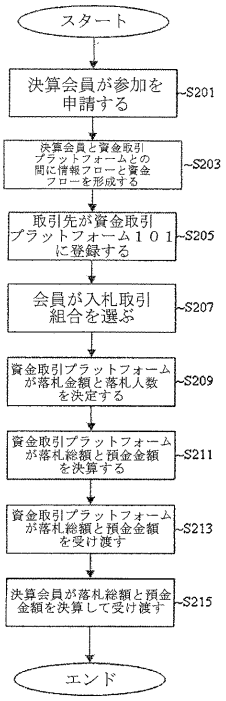
審査請求 有　請求項の数 20　ＯＬ　（全 23 頁）

(21)出願番号　特願2008-316864 (P2008-316864)
(22)出願日　平成20年12月12日 (2008.12.12)
(31)優先権主張番号　097120921
(32)優先日　平成20年6月5日 (2008.6.5)
(33)優先権主張国　台湾 (TW)

(71)出願人　508031852
喬美國際網路股▲分▼有限公司
台湾台北市南港区忠孝東路六段２１号１２楼之７
(74)代理人　100101454
弁理士　山田　卓二
(74)代理人　100081422
弁理士　田中　光雄
(74)代理人　100125874
弁理士　川端　純市
(72)発明者　簡　永松
台湾台北市南港区忠孝東路六段２１号１２楼之７

(54)【発明の名称】資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォーム及びその方法

(57)【要約】
【課題】資金取引プラットフォームに適用される、資本プールの自主的利率による資金取引方法を示す。
【解決手段】決算会員が上記資金取引プラットフォームへの参加を申請し、資金取引プラットフォームと決算会員との間に資金フローと情報フローが形成され、上記決算会員に所属する取引先が上記資金取引プラットフォームに登録して会員となり、そして、上記会員が入札金額を入力し、上記資金取引プラットフォームの資金残高と入札の上記借入利率の高さに基づいて落札金額と落札人数を決定し、さらに、管理サーバーにより落札金額と預入札金を決算し、資金取引プラットフォームにより決算会員に対して決算や受渡を行い、決算会員が、上記した所属する取引先に対して上記落札金額、上記落札総額、上記預金金額または上記返済金額を決算して受け渡す。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
管理サーバーと、データベースとを含む資金取引プラットフォームに適用される、資本プールの自主的利率による資金取引方法において、
決算会員が前記資金取引プラットフォームへの参加を申請するステップと、
前記資金取引プラットフォームと前記決算会員との間に資金フローを形成するとともに、前記資金取引プラットフォームと前記決算会員の金融取引システムとの間に情報フローを形成するステップと、
前記決算会員に所属する取引先が会員端末によって前記資金取引プラットフォームに登録して会員になるステップと、
前記会員が前記会員端末によって入札金額を前記資金取引プラットフォームに入力し、前記管理サーバーが、入力された前記入札金額に基づいて入札会員の平均預金利率と借入利率を算出し、前記資金取引プラットフォームの資金残高と入札した前記会員の前記借入利率の高さに基づいて、落札金額と落札人数を決定するステップと、
前記管理サーバーは、前記落札金額に基づいて、落札会員の落札総額を決算し、前記落札会員の前記平均借入利率と入札保証金、または未落札会員の最高入札金額、または基準利率に基づいて、未落札会員の預金金額を決算するステップと、
前記資金取引プラットフォームは、前記情報フローによって、前記決算会員に所属する取引先に決算された前記落札金額、前記落札総額、前記預金金額および／または返済金額を、前記決算会員の前記金融取引システムに伝送するステップと、
前記資金取引プラットフォームは、前記資金フローによって、前記決算会員に所属する取引先の前記落札金額、前記落札総額、前記預金金額および／または前記返済金額を受け渡すステップと、
前記決算会員は、所属する取引先に対し、前記落札金額、前記落札総額、前記預金金額または前記返済金額を決算して受け渡すステップと
を含むことを特徴とする資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項２】
前記決算会員は、信用審査、信用評価や、与信限度額決定の機能を有する、または前記会員の保証限度額を提供できる銀行、クレジットカード機関、クレジットユニオン、または保証能力を有する企業体であることを特徴とする請求項１に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項３】
前記資金取引プラットフォームはインターネット、有線通信装置、無線通信装置や、ローカルエリアネットワークなどを介して、前記決算会員の前記金融取引システムとの間に前記情報フローを形成し、また、前記資金取引プラットフォームの受渡口座により、前記決算会員へ為替で受渡金額を送金し、両方の前記資金フローを形成し、前記会員端末はインターネット、有線通信装置、無線通信装置や、ローカルエリアネットワークなどを介して、前記資金取引プラットフォームを操作することを特徴とする請求項１に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項４】
さらに、前記会員は前記会員端末によって前記資金取引プラットフォームにおいて、入札金額、入札期間および入札期数を含む入札取引組合を選ぶステップを含むことを特徴とする請求項１に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項５】
前記管理サーバーは、前記データベースに対し、前記決算会員、前記会員、前記平均預金利率、前記借入利率、前記資金残高、前記落札金額、前記落札人数、前記落札総額、前記入札保証金、前記平均借入利率や前記預金金額などのデータをアクセスすることを特徴とする請求項１に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項６】
前記管理サーバーは、開札時点ですべての未落札会員が預金すべき金額から、前記時点

でのすべての落札会員の落札総額を差し引いた値を算出し、
前記管理サーバーは、前回開札時点での前記資金残高＋今回開札時点での前記資金残高がゼロ以下であるかどうかを判定し、
前記管理サーバーは、入札会員の前記入札金額と、選ばれた入札取引組合の入札金額とに基づいて、前記借入利率を算出し、すべての入札会員の前記借入利率を高い順に配列し、
前記管理サーバーは、前記資金残高と入札会員の前記借入利率の高さに基づいて、前記落札金額と落札人数を決定する
ことを特徴とする請求項１に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項７】
前記決算会員が前記資金取引プラットフォームへの参加を申請する場合、前記資金取引プラットフォームの前記管理サーバーは、申請した前記決算会員に対して審査を行って、決算の与信限度額を与え、
前記資金取引プラットフォームは、審査合格した前記決算会員と、オンライで協力契約を締結し、
前記決算会員は、所属する前記取引先の電子入札カードを発行し、
前記した所属する取引先は、前記会員端末によって、前記資金取引プラットフォームに前記電子入札カードの口座番号とパスワードを登録し、前記資金取引プラットフォームの前記会員になる
ことを特徴とする請求項１に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項８】
前記資金取引プラットフォームは、前記決算会員の前記金融取引システムと前記情報フローを介して交信し、前記電子入札カードを持つ会員が入力した口座番号とパスワードを対比して確認することで、前記資金取引プラットフォームの前記管理サーバーによる安全制御管理審査に合格して登録を完成させることを特徴とする請求項７に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項９】
与信限度額の申請を必要としない単純な鞘取り人や預金者が、前記会員端末によって、前記資金取引プラットフォームへの参加を直接的に申請するステップと、
前記資金取引プラットフォームの前記管理サーバーは、申請した前記単純な鞘取り人や預金者のデータに対して審査を行うステップと、
審査に合格すると、前記資金取引プラットフォームは前記単純な鞘取り人や預金者に電子入札カードを発行するステップと、
前記単純な鞘取り人や預金者は、前記会員端末によって、前記電子入札カードの口座番号とパスワードを入力して前記資金取引プラットフォームに登録することにより、会員になるステップと、
をさらに含むことを特徴とする請求項１に記載の資本プールの自主的利率による資金取引方法。
【請求項１０】
入札金額を入力して平均預金利率と借入利率を算出し、前記資金取引プラットフォームの資金残高と前記借入利率の高さに基づいて落札金額と落札人数を決定し、さらに前記落札金額に基づいて落札総額を決算し、前記平均借入利率と入札保証金、最高入札金額、または基準利率に基づいて預金金額を決算する管理サーバーと、
前記管理サーバーが前記決算会員、前記会員、前記平均預金利率、前記借入利率、前記資金残高、前記落札金額、前記落札人数、前記落札総額、前記入札保証金、前記平均借入利率や前記預金金額などのデータをアクセスするデータベースとを含む資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォームにおいて、
前記資金取引プラットフォームと決算会員との間に資金フローが形成されるとともに、前記資金取引プラットフォームと前記決算会員の金融取引システムとの間に情報フローが形成され、前記資金取引プラットフォームは、前記情報フローによって、決算された前記

落札金額、前記落札総額、前記預金金額および／または返済金額を前記金融取引システムに伝送し、そして前記資金フローによって、前記決算会員の前記落札金額、前記落札総額、前記預金金額および／または前記返済金額を受け渡すことを特徴とする資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォーム。

【請求項１１】

前記資金取引プラットフォームは、会員端末によって登録された前記決算会員に所属する取引先を会員として認めることを特徴とする請求項１０に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１２】

前記会員端末はインターネット、有線通信装置、無線通信装置や、ローカルエリアネットワークなどを介して、前記資金取引プラットフォームを操作することを特徴とする請求項１１に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１３】

前記会員端末によって、前記資金取引プラットフォームにおいて、入札金額、入札期間および入札期数を含む入札取引組合が選ばれることを特徴とする請求項１１に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１４】

前記決算会員が前記資金取引プラットフォームへの参加を申請する場合、前記資金取引プラットフォームの前記管理サーバーは、申請した前記決算会員に対して審査を行い、前記資金取引プラットフォームは審査に合格した前記決算会員とオンラインで協力契約を締結し、前記決算会員は前記した所属する取引先の電子入札カードを発行し、そして、前記決算会員に所属する取引先は会員端末によって、前記資金取引プラットフォームに前記電子入札カードの口座番号とパスワードを登録し、前記資金取引プラットフォームの前記会員になることを特徴とする請求項１０に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１５】

前記資金取引プラットフォームは前記決算会員の前記金融取引システムと前記情報フローを介して交信し、前記電子入札カードを持つ会員が入力した口座番号とパスワードを対比して確認することで、前記資金取引プラットフォームの前記管理サーバーによる安全制御管理審査に合格して登録を完成させることを特徴とする請求項１４に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１６】

与信限度額の申請を必要としない単純な鞘取り人や預金者は、前記会員端末によって、前記資金取引プラットフォームへの参加を直接的に申請し、前記管理サーバーは申請した前記単純な鞘取り人や預金者のデータに対して審査を行い、審査に合格すると、前記資金取引プラットフォームは前記単純な鞘取り人や預金者に電子入札カードを発行し、そして、前記単純な鞘取り人や預金者は、前記会員端末によって前記電子入札カードの口座番号とパスワードを入力して前記資金取引プラットフォームに登録することにより、会員になることを特徴とする請求項１０に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１７】

前記決算会員は所属する取引先に、前記落札金額、前記落札総額、前記預金金額または前記返済金額を決算して受け渡すことを特徴とする請求項１０に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１８】

前記決算会員は、信用審査、信用評価や与信限度額決定という機能を有する、または前記会員の保証限度額を提供できる銀行、クレジットカード機関、クレジットユニオン、または保証能力を有する企業体であることを特徴とする請求項１０に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項１９】

前記資金取引プラットフォームはインターネット、有線通信装置、無線通信装置やローカルエリアネットワークなどを介して、前記決算会員の前記金融取引システムとの間に前

記情報フローを形成し、また、前記資金取引プラットフォームの受渡口座により、前記決算会員へ為替で受渡金額を送金し、両方の前記資金フローを形成することを特徴とする請求項１０に記載の資金取引プラットフォーム。

【請求項２０】

前記管理サーバーは、開札時点ですべての未落札会員が預金すべき金額から、前記時点でのすべての落札会員の落札総額を差し引いた値を算出し、前記管理サーバーは、前回開札時点での前記資金残高＋今回開札時点の前記資金残高がゼロ以下であるかどうかを判定し、前記管理サーバーは、入札会員の前記入札金額と、選ばれた入札取引組合の入札金額とに基づいて前記借入利率を算出し、すべての入札会員の前記借入利率を高い順に配列し、前記管理サーバーは、前記資金残高と入札会員の前記借入利率の高さに基づいて前記落札金額と落札人数を決定することを特徴とする請求項１０に記載の資金取引プラットフォーム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、電子ビジネスの資金取引プラットフォーム及びその方法に関し、特に、資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォーム及びその方法に関する。

【背景技術】

【０００２】

従来の金融貯借システムはいずれも、不特定の者が銀行に預金し、銀行が預金利息を支払い、さらに銀行が不特定の者に貸し出して高い貸付利率利息を受け取り、その利鞘を儲けるという間接金融と呼ばれる貯借形態である。間接金融の時代においては、貯借両方はともに情報閉鎖の影響を受けていたが、銀行家たちは相対的に情報の優位を占めていた。従って、金融史学者たちは、間接金融の時代に、銀行は不対称な情報により金を儲けていたと認めている。

【０００３】

従来における、もう一つの貯借形態は、民間入札会という形の直接金融である。これにより、民間における小額融資への切実なニーズが若干補われる。しかし、「入札」という動作では借入者の資金に対する要望を十分に満足させることが難しく、「会」というグループは、借入側と預金側にとって巨大な壁のようなもので、貯借両方のニーズに完全に対応することができない。

【０００４】

ネットワークテクノロジーが盛んに発展した後、情報形態に類似する金はもちろん、物理形態を有する有形物体やサービスはいずれも、次々に虚構の電子ビジネス化されてきた。最初は、一部の有識の銀行家たちが、従来の金融サービスを便利・迅速・確実化し、労力や物資を大幅に削減するために、コンピューター情報システムを導入して、従来の金融サービスを電子化した。

【０００５】

しかしながら、先見の明がある金融企業及び専門家たちは、これだけに止まらず、現段階で電子化された銀行は銀行と取引先との閉鎖システムであり、ネットワークテクノロジー時代において取引両方の情報の釣り合いがとれた時の直接金融が体現すべき取引形態をまだ反映していないと考えていた。

【０００６】

このため、世界中の銀行家達は皆この課題の解決に苦心していた。まず、貯借両方の間でゼロ距離の交渉が行われるようにしなければならず、さらに、消費者に利率に対する自主権を与える必要があり、電子ビジネス用語に言い換えれば、カスタム化された金融商品のことである。

【０００７】

２００５年に、イギリスのＺＯＰＡ社（ＺＯＰＡ；ｗｗｗ．ｚｏｐａ．ｃｏｍ）において、貯借両方のリスクを分散させるオンライン金融貯借プラットフォームが開発されたが

、このような直接金融に類似する貯借方法は、過多の人為的操作に関わっている上に、マイクロファイナンスに限られている。２００６年、アメリカカリフォルニアのｐｒｏｓｐｅｒ社（ｗｗｗ．ｐｒｏｓｐｅｒ．ｃｏｍ）は、社会グループという概念により資金の貯借を運営している。又、特許文献１の「Ｓｙｓｔｅｍ ａｎｄ ｍｅｔｈｏｄ ｆｏｒ ｏｎｌｉｎｅ ｐｅｅｒ-ｔｏ-ｐｅｅｒ ｂａｎｋｉｎｇ」に記載された発明の内容は、殆どいずれも従来の金融製品の営業行為の強化であり、ネットワークテクノロジー時代の最適な貯借メカニズムではない。

【０００８】

これに鑑みて、非特許文献１には、（１）仲介者を介することなく貯借両方が直接に会え、利鞘の人為的制御が避けられるように、従来の入札会を利用して貯借メカニズムを作り出す直接金融借方法、（２）伝統的な互助会は人数、金額、時間が固定性的なために操作において非常に多くの制限があるが、様々な形態の会と様々な条件の使用者を一緒に集め、期ごとの入札の総資金残高で入札の結果を判定して、落札者、落札者それぞれの落札金額、および未落札者が預金すべき入札金額と金額を求めることにより、すべての互助会の制限が打破されるばかりでなく、これからこのメカニズムを経営する実行者が従来のオンライン入札会システムの負荷を低減できるという全体資金残高の概念の導入、（３）直接金融のため、貯借両方はともに相手から最も適切な利率が得られるので、このメカニズムにより得られた借入利率は、現在市場の利率状況を最も適切に反映できるはずであるとともに、このメカニズムは様々な形態の入札会を一緒に集めているので、従来の不合理な入札金額が市場入札状況に影響する確率を排除することができ、貯借利率がさらに代表的になるという市場利率の反映、ということが開示されている。

【特許文献１】アメリカ特許出願公開第２００６／０２２４５０２Ａ１号

【非特許文献１】中華民国９７年３月７日にリンキーバォらにより発表された「オンライン入札会を適用して構築した直接金融の貯借方法」という論文

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００９】

しかし、従来のオンライン直接金融取引モードでは、貯借両方の確実な交渉の機会を作ることができなかったり、過多の人為的操作のために資金の配置効率に影響したり、小範囲の閉鎖形態に限られて、大きくて開放された資金自由市場が形成できなかったり、金融機関がそれぞれ異なった直接金融サービス形態と情報プラットフォームを発展させ、オンライン直接金融の共通価値が成形できなかったりすることがある。

【００１０】

さらに、金融業者同士がそれぞれ勝手に振舞うことから、各金融機関がそれぞれの取引先を確保した上で、信用調査、限度額制御管理や給付などのサービスを行うことができるように、超然とした公平・公正・公開の直接金融資金取引プラットフォームを形成することができない。そして、直接金融資金取引プラットフォームの活動の操作効率を向上させるために、直接金融資金取引プラットフォームの範囲を拡大して各金融業者同士間の閉鎖性を打破し、人為的操作を減少させることができない。また、投資と預金の最適な配置およびこの両者間のリスク低減を達成することができない、即ち、社会資源を最も効率的に運用することができない。

【課題を解決するための手段】

【００１１】

本発明は、上記した課題を解決するために、貯借両方が一体となる直面接触を達成させる一方、ネットワークテクノロジーの迅速・確実という特性を利用し、公平・公開・公正な入札方法により、個体の需要面を反映するように利率を浮動させ、市場資金の最適な配置を達成させる、銀行又は関連金融産業のオンライン資本プールという概念のオンライン直接金融作業システムを提供することを目的とする。参加した銀行や関連金融機関は取引先が失われないという原則のもとで、信用調査、限度額制御管理、保証や給付などのサービスを行い、従来の間接金融の作業形態を変更し、ネットワーク時代の直接金融の合理的

な作業形態を達成させる。本発明は、従来の間接金融貸借と財務管理形態と比較すると、以下のような進歩性と実用性を有している。

【００１２】

（１）インターネットを介してオンライン資本プール資金取引プラットフォームを作成し、入札により、既存の銀行または金融関連機関による信用調査、限度額制御管理、保証および給付というサービスに結合し、貸借または鞘取り商売などの属性が異なる会員が、銀行と金融関連機関を跨いで資金入札組合に参加することができるようにして、貸付者と借入者の出会う機会を迅速かつ有効的に大量に作り出す。

【００１３】

（２）銀行と金融周辺機関をわたる資本入札プラットフォームを作成して資本プールを形成する。貸付側は金融機関による保証のもとでリスクをおかすことなく金を貸し出すことができるのに対し、借入側も銀行による保証のもとで債務の履行を保証することができる。銀行側は、預金負債が低減される一方、取引先の忠実度を確保したうえで貸借の手続き料を儲けることができるとともに、膨大な費用をかけることなく資金取引プラットフォームを作り上げ、規模経済の効果と利益を十分に発揮させることができる。

【００１４】

（３）競争が完全に開放されたオンライン資金取引プラットフォームが作り上げられることにより、利率に入札でリアルタイムに市場資金の需要度を反映させるとともに、貯借が一体化して距離がない上に仲介も不必要という直接金融に最も適した状態になる。

【００１５】

（４）金融体系の資本プールを構成し、各銀行と金融周辺事業を参加させるように開放して、入札により、預金資金を生産性用途（即ち、投資）へ流れるように効率的に導く。

【００１６】

本発明は、管理サーバーと、データベースとを含む資金取引プラットフォームに適用される資本プールの自主的利率による資金取引方法において、決算会員が上記資金取引プラットフォームへの参加を申請するステップと、上記資金取引プラットフォームと上記決算会員との間に資金フローを形成するとともに、上記資金取引プラットフォームと上記決算会員の金融取引システムとの間に情報フローを形成するステップと、会員端末によって上記決算会員に所属する取引先を、上記資金取引プラットフォームに登録して会員とするステップと、上記会員が上記会員端末によって入札金額を上記資金取引プラットフォームに入力し、上記管理サーバーが、入力された上記入札金額に基づいて入札会員の平均預金利率と借入利率を算出し、上記資金取引プラットフォームの資金残高と入札した上記会員の上記借入利率の高さに基づいて、落札金額と落札人数を決定するステップと、上記管理サーバーは、上記落札金額に基づいて落札会員の落札総額を決算し、上記落札会員の上記平均借入利率と入札保証金、または未落札会員の最高入札金額、または基準利率に基づいて、未落札会員の預金金額を決算するステップと、上記資金取引プラットフォームは上記情報フローによって、上記決算会員に所属する上記取引先に決算された上記落札金額、上記落札総額、上記預金金額および／または返済金額を、上記決算会員の上記金融取引システムに伝送するステップと、上記資金取引プラットフォームは上記資金フローによって、上記決算会員に所属する上記取引先の上記落札金額、上記落札総額、上記預金金額および／または上記返済金額を受け渡すステップと、上記決算会員は所属する上記取引先に対し、上記落札金額、上記落札総額、上記預金金額または上記返済金額を決算して受け渡すステップとを含むことを特徴とする資本プールの自主的利率による資金取引方法を提供する。

【００１７】

本発明は、入札金額を入力して平均預金利率と借入利率を算出し、上記資金取引プラットフォームの資金残高と上記借入利率の高さに基づいて落札金額と落札人数を決定し、さらに上記落札金額に基づいて落札総額を決算し、上記平均借入利率と入札保証金、または最高入札金額、または基準利率に基づいて預金金額を決算する管理サーバーと、

上記管理サーバーが上記決算会員、上記会員、上記平均預金利率、上記借入利率、上記資金残高、上記落札金額、上記落札人数、上記落札総額、上記入札保証金、上記平均借入利

率や上記預金金額などのデータをアクセスするデータベースとを含む資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォームにおいて、
上記資金取引プラットフォームと上記決算会員との間に資金フローが形成されるとともに、上記資金取引プラットフォームと上記決算会員の金融取引システムとの間に情報フローが形成され、上記資金取引プラットフォームは、上記情報フローによって、決算された上記落札金額、上記落札総額、上記預金金額および／または返済金額を上記金融取引システムに伝送し、そして上記資金フローによって、上記決算会員の上記落札金額、上記落札総額、上記預金金額および／または上記返済金額を受け渡すことを特徴とする資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォームを提供する。

【発明の効果】

【００１８】

本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォーム及びその方法の具体的な技術内容は、以下の利点が得られる。

【００１９】

（１）インターネットを介してオンライン資本プール資金取引プラットフォームが作り上げられ、入札により、既存の銀行または金融関連機関による信用調査や限度額制御管理、保証、給付というサービスを連結させることにより、貸借または鞘取りなどの属性の異なった会員が、銀行と金融関連機関を跨いで資金入札組合に参加することができ、貸付者と借入者との出会う機会が迅速かつ有効に多量に作り出される。

【００２０】

（２）銀行や金融周辺機関をわたる資本入札プラットフォームが作り上げられ、資本プールが形成される。貸付者は金融機関による保証のもとで、リスクをおかすことなく金を貸し出すことができるのに対し、借入者も銀行による保証のもとで債務の履行を保証することができる。銀行側は、預金の負債が低減される一方、取引先の忠実度を確保したうえで貸借の手続き料を儲けることができるとともに、膨大な費用をかけることなく資金取引プラットフォームを作り上げ、規模経済の効果と利益を十分に発揮させることができる。

【００２１】

（３）競争が完全に開放されたオンライン資金取引プラットフォームが作り上げられることにより、利率に、入札でリアルタイムに市場資金の需要度を反映させるとともに、貯借が一体化して、距離がない上に仲介も不必要という直接金融に最も適した状態になる。

【００２２】

（４）金融体系の資本プールを構成し、各銀行と金融周辺事業を参加させるように開放して、入札により、預金資金生産性用途（即ち、投資）へ流れるように効率的に導く。

【発明を実施するための最良の形態】

【００２３】

本発明にかかる好ましい実施例を説明する前に、まず、本発明にかかる自主的利率による貯借の特徴を説明し、これらの特徴は後述する実施形態に適用されている。

【００２４】

直接金融という特性を有する自主的利率による貯借方法は、主に資金残高均衡という概念の上で構成され、金融取引プラットフォームの管理サーバーが、それぞれの入札者の入札金額に基づいて対応する借入利率を算出し、資金残高及び借入利率の高さに基づいて、各時点（即ち、開札時間）で落札可能な人数、各落札者が得られる落札総額、および未落札者（ここでは預金者である）が預金すべき金額を決定する。以下のようなステップで実行される。

【００２５】

ステップ１：落札人数をゼロとして、金融取引プラットフォームの管理サーバーがこの時点での資金残高を算出する。金融取引プラットフォームによる資金残高の算出は、当該時点でのすべての未落札者（ここでは預金者である）が預金すべき金額から、当該時点でのすべての落札者の落札総額を引くことにより行われる。このステップでは、すべての預金者の預金総額の算出だけが必要となり、未落札者（ここでは預金者である）が預金すべ

き金額は、利息支払いが前払いか後払いかにより、以下の二つの算式がある。

【００２６】

【数１】

$$\text{利息前払い：} U - IX_n \cdots\cdots\cdots(1)$$

【００２７】

【数２】

$$\text{利息後払い：} U \cdots\cdots\cdots(2)$$

ただし、

Ｕは入札者の入札上限であり、

ＩＸ$_n$は、ｎ期目の基準利率に基づいて算出された預金者の入札保証金である。

【００２８】

また、落札者（借入者）の落札総額は、利息支払いが前払いか後払いかにより、以下の二つの算式がある。

【００２９】

【数３】

$$\text{利息前払い：} A_n = (U - I_n) \times (N - n) + U \times (n - 1) \cdots\cdots\cdots(3)$$

【００３０】

【数４】

$$\text{利息後払い：} A_n = U \times (N - n) + U \times (n - 1) + \sum_{i=1}^{n-1} I_i \cdots\cdots\cdots(4)$$

ただし、

Ａｎは、落札者がｎ期目で落札した落札総額であり、

Ｕは入札上限であり、

Ｎは約束した総期数であり、

ｎは現行期数で、且つｎ≦Ｎであり、

Ｉ$_n$は、落札者のｎ期目での落札金額であり、

Ｉ$_i$は、預金者ｉ期目で預ける金額で、且つｉ＜ｎである。

【００３１】

上述した利息前払いとは、金を借りる時に得られる本金からすでに将来支払うべき利息を差し引くことで、ゼロ利息債券にかかる操作と類似し、上記利息後払いとは、金を借りる時にすべての本金が得られ、将来返済する時に利息を支払うことで、一般の貸付金または住宅ローンにかかる操作と類似する。

【００３２】

ステップ２：資金取引プラットフォームの管理サーバーにより、［前時点での資金残高Ｘ＋この時点での資金残高Ｂ$_0$（即ち、資金レベル）］はゼロ以下であるかどうかを判定する。前時点での資金残高Ｘ＋この時点での資金残高Ｂ$_0$がゼロ以下（即ち、Ｂ$_0$＋Ｘ≦０）であると、資金取引プラットフォームはこの時点で落札可能な人はいないと判定し、即ち、この時点ですべての入札者が金を預けなければならないが、その一方、資金残高がゼロ以上であると判定すると、資金取引プラットフォームは、ステップ３に移行する。

【００３３】

直接金融に類似する自主的利率による貯借メカニズムを構築する場合、資金取引プラットフォームにおける資金残高は、ゼロになるべきである。しかし、資金取引プラットフォームにおける資金残高がちょうどゼロになる確率は極めてわずかであるので、その資金残高は必ずゼロ以上またはゼロ以下になる。資金取引プラットフォームにおける資金残高が

ゼロより大きいと、本方法を取り扱う金融機関にとっては、この資金残高の形態が金融機関の借入金額になり、金融機関の支出コストが発生するが、資金取引プラットフォームにおける資金残高がゼロより小さいと、この方法を取り扱う金融機関にとっては、この資金残高の形態が金融機関の貸付金額になり、即ち、僅かな手続き料を儲けることができるので、従来の金融機関による預金と借金との間の利鞘を儲ける間接金融操作形態が変更される。ここで、自主的利率による貯借方法は、入札取引として、仮に資金取引プラットフォームにおける資金残高がゼロ以下であるべきだとした操作である。

【００３４】

ステップ３：借入利率を配列する。ステップ２において資金取引プラットフォームの管理サーバーにより算出された資金残高がゼロより大きいと、資金取引プラットフォームは、入札した者の入札金額に対して対応する借入利率を算出して配列する。資金取引プラットフォームの管理サーバーは、いずれか一人の入札者がｎ期目（ｎを本算出時点に置く）で入札する入札金の借入利率を算出する時に、例えば、財務学における内部収益率（ＩＲＲ）の概念を使用し、まず、下記算式（５）を用いて入札者の以前の各期の平均預金利率ｒを算出し、そして、下記算式（６）を用いて、入札時点で順調に落札した場合の借入利率Ｒを算出する。上記算式は以下のとおりである。

【００３５】

【数５】

$$\sum_{i=1}^{n-1}(U-I_i)\times(1+r)^{N-i}=U\times(n-1)\cdots\cdots\cdots(5)$$

【００３６】

【数６】

$$\sum_{i=1}^{n-1}(U-I_i)\times(1+r)^{n-i}+\sum_{j=1}^{N-n}U\times\left(\frac{1}{1+R}\right)^{j}=A_n\cdots\cdots\cdots(6)$$

ただし、

Ｕは入札上限であり、

Ｎは約束した総期数であり、

ｎは現行期数で、且つｎ≦Ｎであり、

I_iは、預金者がｉ期目で預ける金額で、且つｉ＜ｎであり、

ｒは、預金者の１～ｉ期目の平均預金利率であり、

Ｒは借入利率であり、

A_nは、落札者がｎ期目で落札する落札総額であり、算出手法は算式（３）及び（４）を参照する。

【００３７】

資金取引プラットフォームの管理サーバーはこの時点でのすべての入札者の借入利率を算出してから、対応するすべての入札者の借入利率を、利率の高い順に配列する。

【００３８】

ステップ４：資金取引プラットフォームの管理サーバーは、資金残高をゼロ以下にする最大落札人数を見出す。このステップでは、例えば試行錯誤法の概念を適用して落札人数をｎと求めた場合、［この時点での資金残高＋前時点での資金残高］がゼロ以下である時に、資金取引プラットフォームの管理サーバーにより落札可能な最少人数が見出される。

【００３９】

【数７】

$$Min\left[n\mid B_n+X<=0\right]\cdots\cdots\cdots(7)$$

ただし、

B_nは、この時間での落札人数をｎとする場合の資金残高であり、
Ｘは前時点での資金残高である。

【００４０】

ステップ５：落札者の決算を行う。落札者（借入者）に対して、資金取引プラットフォームの管理サーバーは、この時点で落札した入札者がいる場合に落札者の落札総額を算出する。資金取引プラットフォームは、利息支払いが前払いか後払いかにより、以下の二つの算式がある。

【００４１】

【数８】

$$\text{利息前払い：} A_n = (U - I_n) \times (N - n) + U \times (n - 1) \cdots\cdots\cdots (8)$$

【００４２】

【数９】

$$\text{利息後払い：} A_n = U \times (N - n) + U \times (n - 1) + \sum_{i=1}^{n-1} I_i \cdots\cdots\cdots (9)$$

ただし、
Ａｎは、落札者がｎ期目で落札した落札総額であり、
Ｕは入札上限であり、
Ｎは約束した総期数であり、
ｎは現行期数で、且つｎ≦Ｎであり、
I_nは落札者のｎ期目での落札金額であり、
I_iは預金者がｉ期目で預ける金額で、且つｉ＜ｎである。

【００４３】

上記した前落札者は以後の期数で返金すべきであり、返済金額の算出は以下のように行われる。

【００４４】

【数１０】

$$\text{利息前払い：} U \cdots\cdots\cdots (10)$$

【００４５】

【数１１】

$$\text{利息後払い：} U + I_n \cdots\cdots\cdots (11)$$

ただし、
Ｕは入札上限であり、
I_nは入札者がｎ期目で入札する金額である。

【００４６】

ステップ６：未落札の使用者の決算を行う。資金取引プラットフォームの管理サーバーがこの時点で落札可能な人数をｎ（ｎ＝１…Ｉ）と判定した場合、資金取引プラットフォームの管理サーバーは、この時点で落札可能な人数がｎである時の平均借入利率を算出し、そして非落札者（即ち、預金者）の預金金額IA_nを算出する。資金取引プラットフォームの管理サーバーによる預金者の預金金額IA_nの算出は、利息支払いが前払いか後払いかにより、二つの算出手法がある。

【００４７】

【数１２】

$$\text{利息前払い：} (U - IA_n) \times (1 + R_a)^{N-n} = U \cdots\cdots\cdots (12)$$

【００４８】
【数１３】

$$\text{利息後払い：} U \times (1+R_a)^{N-n} = U + IA_n \cdots\cdots\cdots (13)$$

ただし、
Ｕは入札上限であり、
Ｎは約束した総期数であり、
ｎは現行期数で、且つｎ≦Ｎであり、
ＩＡ$_n$は、ｎ期目の平均借入利率に基づいて算出された預金者の預金金額であり、
Ｒ$_a$は平均借入利率である。
【００４９】
この時点で落札した入札者がいれば、資金取引プラットフォームの管理サーバーは、平均借入利率に基づいて預金金額ＩＡ$_n$を算出する。この未落札者が預けるべき金額の算出は、利息支払いが前払いか後払いかにより、同様に以下の二つの算式が用いられる。
【００５０】
【数１４】

$$\text{利息前払い：} U - IA_n \cdots\cdots\cdots (14)$$

【００５１】
【数１５】

$$\text{利息後払い：} U \cdots\cdots\cdots (15)$$

ただし、
Ｕは入札上限であり、
ＩＡ$_n$は、ｎ期目の平均借入利率に基づいて算出された預金者の預金金額である。
【００５２】
この時点で落札した入札者はいないが、入札した入札者がいる（未落札のために預金すべきである。）場合に、資金取引プラットフォームの管理サーバーによる入札者の預金金額の算出は、利息支払いが前払いか後払いかにより、以下の二つの算式がある。
【００５３】
【数１６】

$$\text{利息前払い：} U - IH_n \cdots\cdots\cdots (16)$$

【００５４】
【数１７】

$$\text{利息後払い：} U \cdots\cdots\cdots (17)$$

ただし、
Ｕは入札上限であり、
ＩＨ$_n$は入札者がｎ期目で落札していない最高入札金額である。
【００５５】
未落札者の方では、ｎ期目で落札した入札者もいなければ、入札した入札者もいない場合、資金取引プラットフォームの管理サーバーによる当該入札者の預金金額の算出は、利息支払いが前払いか後払いかにより、以下の二つの算式がある。
【００５６】

【数１８】

利息前払い：$U - IX_n$ ……(18)

【００５７】

【数１９】

利息後払い：U ……(19)

ただし、

Ｕは入札上限であり、

ＩＸ$_n$は、ｎ期目の基準利率に基づいて算出された預金者の預金金額である。

【００５８】

図１は、本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォームを示すブロック図である。図１において、会員端末１０３、１０５はインターネット、有線通信装置、無線通信装置やローカルエリアネットワークなどを介して、資金取引プラットフォーム１０１に接続されており、決算会員に所属する取引先は会員端末１０３により、または、単純な鞘取り人や預金者は会員端末１０５により、資金取引プラットフォーム１０１に登録され、上記資金取引プラットフォーム１０１における入札または預金する会員になり、そして資金取引プラットフォーム１０１の各種の機能を操作する。

【００５９】

決算会員は、信用審査、信用評価や与信限度額の決定という能力を有する、または会員の保証限度額を提供できる銀行、クレジットカード機関、クレジットユニオン、または保証能力を有する企業体である。

【００６０】

資金取引プラットフォーム１０１は、インターネット、有線通信装置、無線通信装置やローカルエリアネットワークなどを介して、決算会員の金融取引システム１０７との間に情報フローを形成し、また、資金取引プラットフォーム１０１の受渡口座により、決算会員へ為替で受渡金額を送金し、両方の上記資金フローを形成する。

【００６１】

資金取引プラットフォーム１０１は管理サーバー１０９と、データベース１１１とを含む。決算会員が資金取引プラットフォーム１０１への参加を申請する場合、管理サーバー１０９は、決算会員により提供された審査データに基づいて、申請する上記決算会員に対して審査を行い、資金取引プラットフォーム１０１は管理サーバー１０９による審査に合格した決算会員と、オンラインで協力契約を締結する。管理サーバー１０９は審査された決算会員のデータ、審査結果および締結された契約などを、データベース１１１に記憶する。

【００６２】

資金取引プラットフォーム１０１は決算会員の金融取引システム１０７と情報フローを介して交信し、管理サーバー１０９により、電子入札カードを持つ会員が入力した口座番号とパスワードを対比して確認することで、管理サーバー１０９による安全制御管理審査に合格して登録が完成する。ここで、決算会員が、所属する取引先の電子入札カードを発行し、電子入札カードを持つ取引先は、会員端末１０３により、資金取引プラットフォーム１０１へ上記電子入札カードの口座番号とパスワードを登録し、資金取引プラットフォーム１０１の会員になる。管理サーバー１０９は、電子入札カードを持つ会員のデータをデータベース１１１に記憶するとともに、当該会員に対応する電子入札カードの口座番号とパスワードをデータベース１１１に記憶する。

【００６３】

与信限度額の申請を必要としない単純な鞘取り人や預金者は、会員端末１０５によって資金取引プラットフォーム１０１への参加を直接に申請し、資金取引プラットフォーム１０１に単純な鞘取り人や預金者のデータ（例えば、個人基本データ及び信用調査データ）

を提供する。管理サーバー１０９は、申請した単純な鞘取り人や預金者のデータに対して審査を行い、審査に合格すると、資金取引プラットフォーム１０１は、当該単純な鞘取り人や預金者に電子入札カードを発行する。単純な鞘取り人や預金者は、会員端末１０５によってその電子入札カードの口座番号とパスワードを入力し、資金取引プラットフォーム１０１に登録することにより、資金取引プラットフォーム１０１の会員になる。管理サーバー１０９は、電子入札カードを持つ単純な鞘取り人や預金者のデータをデータベース１１１に記憶すると同時に、当該単純な鞘取り人や預金者に対応する電子入札カードの口座番号とパスワードをデータベース１１１に記憶する。

【００６４】

入札資格を持つ会員は、会員端末１０３、１０５によって、資金取引プラットフォーム１０１に入札金額を入力し、管理サーバー１０９はすべての会員の入札金額に基づいて、上記した自主的利率による貯借方法のステップ３の記載のように、平均預金利率と借入利率を算出する。上記した自主的利率による貯借方法のステップ１～ステップ４において、管理サーバー１０９は資金取引プラットフォーム１０１の資金残高とすべての入札会員の借入利率の高さに基づいて、落札金額と落札人数を決定する。上記した自主的利率による貯借方法のステップ５とステップ６において、管理サーバー１０９は上記落札金額に基づいて落札会員の落札総額を決算し、上記平均借入利率と入札保証金、または最高入札金額、または基準利率に基づいて、未落札会員の預金金額を決算する。管理サーバー１０９は、平均預金利率、借入利率、資金残高、落札金額、落札人数、落札総額、入札保証金、平均借入利率や預金金額などをデータベース１１１に記憶する。

【００６５】

資金取引プラットフォーム１０１は情報フローによって、決算された落札金額、落札総額、預金金額および／または返済金額を決算会員の金融取引システム１０７に伝送し、資金取引プラットフォーム１０１は資金フローによって、会員の落札金額、落札総額、預金金額および／または返済金額を受け渡して決算する。管理サーバー１０９は、資金取引プラットフォーム１０１から決算会員への決算・受渡しなどのデータをデータベース１１１に記憶する。

【００６６】

図２は、本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引方法のフローチャートである。図２のフローを説明するとともに、図１における要素を参照する。まず、決算会員、または単純な鞘取り人や預金者が資金取引プラットフォーム１０１への参加を申請する（ステップＳ２０１）。決算会員は、審査のために、例えば会社資産などのデータを資金取引プラットフォーム１０１に提供し、単純な鞘取り人や預金者は、審査のために、例えば個人基本データと信用調査データを資金取引プラットフォーム１０１に提供する。

【００６７】

資金取引プラットフォーム１０１と決算会員との間に資金フローを形成するとともに、資金取引プラットフォーム１０１と決算会員の金融取引システム１０７との間に情報フローを形成する（ステップＳ２０３）。決算会員に所属する取引先は会員端末１０３によって、資金取引プラットフォーム１０１へ登録して会員になる（ステップＳ２０５）。

【００６８】

図３は、本発明にかかる資本プールにおける自主的利率による資金取引方法の、決算会員が資金取引プラットフォームに参加する場合のフローチャートである。決算会員が上記資金取引プラットフォーム１０１への参加を申請する場合、資金取引プラットフォーム１０１の管理サーバー１０９は決算会員により提供されたデータに基づいて、申請した当該決算会員に対して審査を行う（ステップＳ３０１）。

【００６９】

次に、資金取引プラットフォーム１０１は審査合格した決算会員と、オンラインで協力契約を締結する（ステップＳ３０３）。管理サーバー１０９は、審査された決算会員のデータ、審査結果および締結された契約などを、データベース１１１に記憶する。

【００７０】

決算会員に所属する取引先が資金取引プラットフォーム１０１へ自主的利率による資金入札を申請する場合、上記決算会員は上記した所属する取引先に、専用の口座番号とパスワードを有する電子入札カードを発行する（ステップＳ３０５）。管理サーバー１０９は、上記した所属する取引先の電子入札カードの口座番号とパスワードをデータベース１１１に記憶する。

【００７１】

そして、上記した所属する取引先は、会員端末１０３によって、資金取引プラットフォーム１０１へ電子入札カードの口座番号とパスワードを登録することにより、資金取引プラットフォーム１０１の会員になる（ステップＳ３０７）。

【００７２】

ここで、資金取引プラットフォーム１０１は決算会員の金融取引システム１０７と情報フローを介して交信し、管理サーバー１０９により、電子入札カードを持つ会員が入力した口座番号とパスワードを対比して確認することで、資金取引プラットフォーム１０１の管理サーバー１０９による安全制御管理審査に合格して登録が完成する。

【００７３】

図４は本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引方法における、単純な鞘取り人や預金者が資金取引プラットフォームへ参加する場合のフローチャートである。単純な鞘取り人や預金者は、資金取引プラットフォーム１０１の自主的利率による資金入札により利息を儲けることができるので、与信限度額の申請が必要ない単純な鞘取り人や預金者は会員端末１０５により、資金取引プラットフォーム１０１への参加を直接に申請する（ステップＳ４０１）。

【００７４】

次に、資金取引プラットフォーム１０１の管理サーバー１０９は、申請した単純な鞘取り人や預金者のデータ（例えば、個人基本データ）に対して審査を行う（ステップＳ４０３）。単純な鞘取り人や預金者が管理サーバー１０９による審査に合格すると、資金取引プラットフォーム１０１は上記した単純な鞘取り人や預金者に、電子入札カードを発行する（ステップＳ４０５）。管理サーバー１０９は、審査された単純な鞘取り人や預金者のデータ及びその電子入札カードの口座番号とパスワードを、データベース１１１に記憶する。

【００７５】

その後、単純な鞘取り人や預金者は、会員端末１０５によって、電子入札カードの口座番号とパスワードを入力し、資金取引プラットフォーム１０１に登録することにより、会員になる（ステップＳ４０７）。

【００７６】

もう一度図２を参照すると、会員は会員端末１０３、１０５により、資金取引プラットフォーム１０１において、入札金額、入札期間および入札期数を含む入札取引組合を選ぶ（ステップＳ２０７）。管理サーバー１０９は会員に選ばれた入札取引組合のデータを、データベース１１１に記憶する。

【００７７】

そして、会員は会員端末１０３、１０５によって資金取引プラットフォーム１０１に入札金額を入力し、管理サーバー１０９は、入札会員により入力された入札金額に基づいて、入札会員の平均預金利率と借入利率を算出し（上述した自主的利率による貯借方法のステップ３に相当する）、資金取引プラットフォーム１０１の資金残高と入札した上記借入利率の高さに基づいて（上述した自主的利率による貯借方法のステップ１～ステップ４に相当する）、落札金額と落札人数を決定する（ステップＳ２０９）。管理サーバー１０９は、落札会員、入札金額、平均預金利率、借入利率、資金残高、落札金額や落札人数などのデータをデータベース１１１に記憶する。

【００７８】

次に、管理サーバー１０９は落札金額に基づいて落札会員の落札総額を決算し（上述した自主的利率による貯借方法のステップ５に相当する）、落札会員の平均借入利率と入札

保証金、未落札会員の最高入札金額、または基準利率に基づいて、未落札会員の預金金額を決算する（上述した自主的利率による貯借方法のステップ６に相当する）（ステップＳ２１１）。管理サーバー１０９は、落札総額、入札保証金、最高入札金額や預金金額などのデータをデータベース１１１に記憶する。

【００７９】

その後、資金取引プラットフォーム１０１は情報フローによって、決算会員に所属する取引先（または単純な鞘取り人や預金者）に決算された落札金額、落札総額、預金金額および／または返済金額を、決算会員の金融取引システム１０７（または単純な鞘取り人や預金者の会員端末１０５）に伝送する。そして、この資金取引プラットフォーム１０１は資金フローによって、会員に所属する取引先（または単純な鞘取り人や預金者）の落札金額、上記落札総額、上記預金金額および／または上記返済金額を受け渡して決算する（ステップＳ２１３）。決算会員は、所属する取引先に対して落札金額、落札総額、預金金額または返済金額を決算して受け渡す（ステップＳ２１５）。

【００８０】

以下、４つの実施例を提供して本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引方法を説明するとともに、図１～図４を参照してこれらの実施例について述べる。

【００８１】

［実施例１］

決算会員である銀行Ａが資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォーム１０１への参加を申請すると仮設し（ステップＳ２０１）、銀行Ａは、信用調査のために、資金取引プラットフォーム１０１に審査のための例えば会社資産などのデータを提供し、信用調査に合格すると、銀行Ａはオンライン資本プールの資金入札取引へ参加することができる。

【００８２】

そして、資金取引プラットフォーム１０１と銀行Ａとの間に資金フローを形成するとともに、資金取引プラットフォーム１０１と銀行Ａの金融取引システム１０７との間に情報フローを形成する（ステップＳ２０３）。銀行Ａに所属する取引先である取引先甲は、オンライン資本プールの資金入札取引への参加を希望する場合、会員端末１０３によって資金取引プラットフォーム１０１に登録して会員甲になることができる（ステップＳ２０５）。

【００８３】

ここで、銀行Ａが資金取引プラットフォーム１０１への参加を申請する際に、資金取引プラットフォーム１０１の管理サーバー１０９は銀行Ａにより提供されたデータに基づいて、銀行Ａに対して審査を行う（ステップＳ３０１）。

【００８４】

そして、資金取引プラットフォーム１０１は審査に合格した銀行Ａと、オンラインで協力契約を締結する（ステップＳ３０３）。管理サーバー１０９は審査された銀行Ａのデータ、審査結果および締結された契約などを、データベース１１１に記憶する。

【００８５】

銀行Ａの取引先甲が資金取引プラットフォーム１０１へ資本プールの自主的利率による資金入札を申請する場合、銀行Ａは取引先甲の専用の口座番号とパスワードを有する電子入札カードを発行する（ステップＳ３０５）。管理サーバー１０９は、取引先甲の電子入札カードの口座番号とパスワードを、データベース１１１に記憶する。

【００８６】

そして、取引先甲は、会員端末１０３によって資金取引プラットフォーム１０１に電子入札カードの口座番号とパスワードを登録することにより、資金取引プラットフォーム１０１の資本プールの自主的利率による資金入札の資格を有する会員甲になる（ステップＳ３０７）。

【００８７】

ここで、資金取引プラットフォーム１０１は銀行Ａの金融取引システム１０７と情報フ

ローを介して交信し、管理サーバー１０９により、電子入札カードを持つ会員甲により入力された口座番号とパスワードを対比して確認することで、資金取引プラットフォーム１０１の管理サーバー１０９による安全制御管理審査に合格して登録が完成する。

【００８８】

例えば、取引先甲は、銀行Ａにより、審査の上で１００，０００元という与信限度額を付与されるとともに、専用の電子入札カードが発行される。ここで、銀行Ａは金融取引システム１０７によって、情報フローを介して、上記取引先甲とその電子入札カードなどのデータを資金取引プラットフォーム１０１に伝送する。

【００８９】

取引先甲は、電子入札カードを取得した後、会員端末１０３によって、電子入札カードのカードナンバーとパスワードを資金取引プラットフォーム１０１に登録し、通過管理サーバー１０９による安全制御管理審査に合格すると、資金取引プラットフォーム１０１に入って入札資格を有する会員甲になり、資金取引プラットフォーム１０１における各種の操作をすることができる。

【００９０】

会員甲は、資金取引プラットフォーム１０１に登録した後、データを調べるか資金取引プラットフォーム１０１の入札取引に参加するかを選択することができる。会員甲は、資金取引プラットフォームの入札取引に参加することを選択すると、資金取引プラットフォーム１０１に、与信限度額を申請するかどうかを尋ねられ、与信限度額を申請しない場合、与信限度額のない会員になる。言い換えれば、即ち、資金取引プラットフォーム１０１が会員甲に付与する与信限度額はゼロであるため、会員甲を単純な鞘取り人や預金者とし、与信限度額無しで融資が行われるため、会員甲の初期与信限度額はゼロや極めて小さな限度額であってもよく、会員甲の与信限度額は主に自然に発生したもので、即ち、期ごとに預ける預金金額＋儲けた入札利息の金額の増加に伴って高くなるものである。

【００９１】

会員甲が資金取引プラットフォーム１０１の入札取引に参加する際に、期ごとに預ける預金金額＋儲けた入札利息の金額は、会員甲の自然発生限度額となる。会員甲の自然発生限度額が資金取引プラットフォーム１０１の入札取引に必要な限度額以上である場合に、会員甲は、資金取引プラットフォーム１０１の入札取引プロセスを介して入札を行い、所望な資金を取り戻すことができる。

【００９２】

そして、会員甲は自分の資金に対する需要に応じて、会員端末１０３によって資金取引プラットフォーム１０１において、入札金額、入札期間および入札期数を含む入札取引組合を選ぶ（ステップＳ２０７）。管理サーバー１０９は、会員甲に選ばれた入札取引組合のデータを、データベース１１１に記憶する。

【００９３】

次に、会員甲は会員端末１０３によって、資金取引プラットフォーム１０１に入札金額を入力し、管理サーバー１０９は会員甲により入力された入札金額に基づいて、会員甲の平均預金利率と借入利率を算出し（上述した自主的利率による貯借方法のステップ３に相当する）、資金取引プラットフォーム１０１の資金残高とすべての入札会員の借入利率の高さに基づいて（上述した自主的利率による貯借方法のステップ１～ステップ４に相当する）、会員甲または他の会員が落札するかどうかや、落札した場合に得られる落札金額を決定する（ステップＳ２０９）。管理サーバー１０９は、落札会員、入札金額、平均預金利率、借入利率、資金残高、落札金額や落札人数などのデータを、データベース１１１に記憶する。

【００９４】

次に、会員甲が落札した場合は、管理サーバー１０９が落札金額に基づいて会員甲の落札総額を決算するが（上述した自主的利率による貯借方法のステップ５に相当する）、会員甲が落札していない場合は、管理サーバー１０９が、落札会員の平均借入利率と入札保証金、会員甲の最高入札金額、または基準利率に基づいて、会員甲の預金金額を決算する

（上述自主的利率による貯借方法のステップ６に相当する）（ステップＳ２１１）。管理サーバー１０９は、落札総額、入札保証金、最高入札金額および預金金額などのデータを、データベース１１１に記憶する。

【００９５】

そして、資金取引プラットフォーム１０１は情報フローによって、銀行Ａの取引先甲に決算された落札金額、落札総額、預金金額および／または返済金額を、銀行Ａの金融取引システム１０７に伝送する。さらに、資金取引プラットフォーム１０１の受渡口座により、資金フローを介して、銀行Ａの取引先甲の落札金額、落札総額、預金金額および／または返済金額を受け渡す（ステップＳ２１３）。銀行Ａは取引先甲の個人口座に対して、落札金額、落札総額、預金金額または返済金額を決算して受け渡す（ステップＳ２１５）。

【００９６】

［実施例２］

クレジットカード機関Ｂの取引先乙は、資金が要るため、資金取引プラットフォーム１０１への参加を申請する。クレジットカード機関Ｂは、ステップＳ２０１、Ｓ２０３、Ｓ３０１およびＳ３０３を実行することにより、資金取引プラットフォーム１０１の決算会員になり、取引先乙は、ステップＳ２０５、Ｓ３０５およびＳ３０７を実行することにより、資金取引プラットフォーム１０１の会員乙になる。

【００９７】

会員乙は、会員端末１０３によって、電子入札カードの口座番号とパスワードを登録して資金取引プラットフォーム１０１に入り、管理サーバー１０９により、登録された口座番号とパスワードが審査され、口座番号とパスワードが間違いないと確認された後、資金取引プラットフォーム１０１への登録が認められる。

【００９８】

会員乙は、自分の財務管理の需要に応じて、資金取引プラットフォーム１０１が予め組み合せた入札金額、期限および期間の各種の入札取引組合を選ぶことができる（ステップＳ２０７）。

【００９９】

例えば、会員乙が入札金額１０,０００元、入札期間２年間、入札期数２４期という入札取引組合を選択する場合、この会員乙が自分の財務管理の需要に応じて、会員端末１０３によって入札金額１,０００元を入力すると、管理サーバー１０９はすべての入札会員に入力された入札金額に基づいて、会員乙が落札したかどうかを判定し、その結果を以下のように示す。

【０１００】

（１）会員乙が６期目で資金取引プラットフォーム１０１の入札取引に参加して、入札金額を１,０００元と入力し、管理サーバー１０９がすべての入札会員により入力された入札金額に基づいて、会員乙が当期で落札したと決定する（ステップＳ２０９）。

【０１０１】

管理サーバー１０９は、例えば、算式８により、会員乙が取得できる落札総額を以下のように決算する（ステップＳ２１１）。

（１０,０００元－１,０００元）×（２４－６）＋１０,０００元×（６－１）＝２１２,０００元

【０１０２】

そして、資金取引プラットフォーム１０１は情報フローによって、クレジットカード機関Ｂの取引先乙（即ち、会員乙）に決算された落札総額（その金額は２１２,０００元である）を、クレジットカード機関Ｂの金融取引システム１０７に伝送する。さらに、資金取引プラットフォーム１０１の受渡口座により、資金フローを介して、クレジットカード機関Ｂの取引先乙の落札総額を受け渡す（ステップＳ２１３）。次に、クレジットカード機関Ｂは、取引先乙の個人口座に対して、落札総額を決算して受け渡す（ステップＳ２１５）。

【０１０３】

（２）会員乙が６期目で資金取引プラットフォーム１０１の入札取引に参加して、入札金額を１,０００元と入力し、管理サーバー１０９がすべての入札会員により入力された入札金額に基づいて、会員乙が当期で落札できないと決定し（ステップＳ２０９）、そして、会員乙が入札し続けないと選択すると、会員乙の当期での資金取引プラットフォーム１０１の入札取引が終了する。

【０１０４】

例えば、算式１４で決算を行うと、管理サーバー１０９は、会員乙により入力された入札金額に基づいてこの会員乙が当期（６期目）で納めるべき預金金額を決算し（ステップＳ２１１）、即ち、会員乙は１０,０００元－１,０００元＝９,０００元を納めるべきである。

【０１０５】

そして、資金取引プラットフォーム１０１は情報フローによって、クレジットカード機関Ｂの取引先乙（即ち、会員乙）に決算された預金金額（その金額は９,０００元である）を、クレジットカード機関Ｂの金融取引システム１０７に伝送する。さらに、資金取引プラットフォーム１０１の受渡口座により、資金フローを介して、クレジットカード機関Ｂの取引先乙の預金金額を受け渡す（ステップＳ２１３）。クレジットカード機関Ｂは、取引先乙の個人口座に対して、預金金額を決算して受け渡す（ステップＳ２１５）。

【０１０６】

（３）会員乙が６期目で資金取引プラットフォーム１０１の入札取引に参加して、入札金額を１,０００元と入力し、管理サーバー１０９はすべての入札会員により入力された入札金額に基づいて、会員乙が当期で落札できないと決定し、そして、会員乙が入札し続けることを選択し、さらに入札金額で１,２００元を入力すると、管理サーバー１０９はすべての入札会員により入力された入札金額に基づいて、会員乙が当期で落札したと決定する（ステップＳ２０９）。

【０１０７】

管理サーバー１０９は、例えば、算式８により、会員乙が取得できる落札総額を以下のように決算する（ステップＳ２１１）。

（１０,０００元－１,２００元）×（２４－６）＋１０,０００元×（６－１）＝２０８,４００元

【０１０８】

そして、資金取引プラットフォーム１０１は情報フローによって、クレジットカード機関Ｂの取引先乙（即ち、会員乙）に決算された落札総額（その金額は２０８,４００元である）を、クレジットカード機関Ｂの金融取引システム１０７に伝送する。さらに、資金取引プラットフォーム１０１の受渡口座により、資金フローを介して、クレジットカード機関Ｂの取引先乙の落札総額を受け渡す（ステップＳ２１３）。次に、クレジットカード機関Ｂは、取引先乙の個人口座に対して、落札総額を決算して受け渡す（ステップＳ２１５）。

【０１０９】

［実施例３］

与信限度額の発生源としては、資金取引プラットフォーム１０１の業者が決算会員に所属する取引先に許可する与信限度額と、単純な鞘取り人や預金者（即ち、決算会員に所属する取引先ではない）が資金取引プラットフォーム１０１の入札取引に参加する場合、期ごとに納める預金金額に儲けた入札取引の入札利息を加えた金額が、この会員の限度額になる、自然発生限度額と呼ばれる二つがある。

【０１１０】

単純な鞘取り人や預金者は、資金取引プラットフォーム１０１の自主的利率による資金入札により利息を儲けることができるので、与信限度額の申請を必要としない単純な鞘取り人や預金者は、会員端末１０５によって、資金取引プラットフォーム１０１への参加を直接に申請する（ステップＳ４０１）。

【０１１１】

次に、資金取引プラットフォーム１０１の管理サーバー１０９は、申請した単純な鞘取り人や預金者のデータ（例えば個人基本データ）に対して審査を行う（ステップＳ４０３）。単純な鞘取り人や預金者が管理サーバー１０９による審査に合格すると、資金取引プラットフォーム１０１は上記単純な鞘取り人や預金者に電子入札カードを発行する（ステップＳ４０５）。管理サーバー１０９は、審査された単純な鞘取り人や預金者、及びその電子入札カードの口座番号とパスワードを、データベース１１１に記憶する。

【０１１２】

そして、単純な鞘取り人や預金者は、会員端末１０５によって、電子入札カードの口座番号とパスワードを入力して資金取引プラットフォーム１０１に登録し、会員丙になる（ステップＳ４０７）。

【０１１３】

例えば、会員丙は単純な鞘取り人や預金者であるため、与信限度額無しで融資が行われるので、会員丙の初期与信限度額は０元であってもよく、即ち、会員丙は預金型の取引先である。

【０１１４】

会員丙は、資金取引システム１０１に、入札金額１０,０００元、入札期間２年、入札期数２４期という入札取引組合を選ぶ（ステップＳ２０７）。会員丙の初期与信限度額は０元であるので、この与信限度額は、会員丙が期ごとに納める預金金額に入札取引の入札利息を加えた金額の増加に伴って高くなる。これは主に、会員丙が資金取引システム１０１の入札取引に参加する期ごとに納める預金金額に、入札取引の入札利息を加えた金額は、会員丙の与信限度額になり、即ち、期ごとに納める預金金額より自然に発生した限度額になるからである。

【０１１５】

会員丙の与信限度額が累計２４０，０００になる際に、会員丙は資金取引プラットフォーム１０１の入札取引プロセスを介して、資金取引プラットフォーム１０１に入札金額を入力し、落札して所望な資金を取り戻すことができる（ステップＳ２０９）。

【０１１６】

次に、会員丙が落札した場合に、管理サーバー１０９は落札金額に基づいて会員丙の落札総額を決算する（上述した自主的利率による貯借方法のステップ５に相当する）（ステップＳ２１１）。管理サーバー１０９は、会員丙の落札金額（即ち、入力された入札金額）および落札総額をデータベース１１１に記憶する。

【０１１７】

そして、資金取引プラットフォーム１０１は情報フローによって、会員丙に決算された落札総額を会員Ｂの会員端末１０５に伝送する。さらに、資金取引プラットフォーム１０１の受渡口座により、資金フローを介して、会員丙の落札総額をこの会員丙の個人口座に受け渡す（ステップＳ２１３）。

【０１１８】

［実施例４］

前述した資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォーム１０１による基本入札金額の決定は、動的な過程であり、資金取引プラットフォーム１０１の管理サーバーによりプログラム演算が実行され、基本入札金額の発生は、資金の供給、資金の需要、プラットフォーム業者自身の利率レベル、長短期利率変化などの変数を参照して決定される（上述した自主的利率による貯借方法のステップ１～ステップ４に相当する）。金フローの変化は動的な過程であるから、膨大な流入量と流出量により基本入札金額が決定される。

【０１１９】

なお、資金取引プラットフォーム１０１の入札会員により入力された入札金額が基本入札金額に達しない場合、この入札会員は、預金者とされ（ステップＳ２０９）、上述した自主的利率による貯借方法のステップ６に基づいて、入力された入札金額を差し引いた預金金額を納める必要がある（ステップＳ２１１～Ｓ２１５）。

【０１２０】

例えば、会員丁は資金取引プラットフォーム１０１に、入札金額１０，０００元、入札期間２年、入札期数２４期という入札取引組合を選ぶ（ステップＳ２０７）。この会員丁により資金取引プラットフォーム１０１に入力された入札金額１，０００元は、資金取引プラットフォーム１０１に設定された基本入札金額に達しないため、会員丁は今回の入札取引で落札していない（ステップＳ２０９）ので、管理サーバー１０９に基づいて決算された預金金額は、１０，０００元－１，０００元＝９，０００元である（ステップＳ２１１）。そして、ステップＳ２１３とＳ２１５を実行し、会員丁が預金金額の受渡プロセスを実行する。

【０１２１】

プラットフォーム業者は預金者に対して入札下限を設定してもよいが、入札下限の設定意義が預金利率を参照してなされたもので、預金者は入札しなければ、入札金額からプラットフォーム業者により設定された入札下限を差し引いて、預金金額として納める必要がある。

【０１２２】

例えば、会員戊は、資金取引プラットフォーム１０１に、入札金額１０,０００元、入札期間２年、入札期数２４期という入札取引組合を選ぶ（ステップＳ２０７）。プラットフォーム業者は入札下限金額を８００元と設定するが、会員戊は預金者であり入札に参加しない。管理サーバー１０９により決算された後（ステップＳ２１１）、会員戊が納めるべき預金金額は１０,０００元－８００元＝９,２００元である。そして、ステップＳ２１３とＳ２１５を実行し、会員戊が預金金額の受渡プロセスを実行する。

【０１２３】

上述した説明から、本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォーム及びその方法の具体的な技術内容は、以下の利点が得られることが分かる。

【０１２４】

（１）インターネットを介してオンライン資本プール資金取引プラットフォームが作り上げられ、入札により、既存の銀行または金融関連機関による信用調査や限度額制御管理、保証、給付というサービスを連結させることにより、貸借または鞘取りなどの属性の異なった会員が、銀行と金融関連機関を跨いで資金入札組合に参加することができ、貸付者と借入者との出会う機会が迅速かつ有効に多量に作り出される。

【０１２５】

（２）銀行や金融周辺機関をわたる資本入札プラットフォームが作り上げられ、資本プールが形成される。貸付者は金融機関による保証のもとで、リスクをおかすことなく金を貸し出すことができるのに対し、借入者も銀行による保証のもとで債務の履行を保証することができる。銀行側は、預金の負債が低減される一方、取引先の忠実度を確保したうえで貸借の手続き料を儲けることができるとともに、膨大な費用をかけることなく資金取引プラットフォームを作り上げ、規模経済の効果と利益を十分に発揮させることができる。

【０１２６】

（３）競争が完全に開放されたオンライン資金取引プラットフォームが作り上げられることにより、利率に、入札でリアルタイムに市場資金の需要度を反映させるとともに、貯借が一体化して、距離がない上に仲介も不必要という直接金融に最も適した状態になる。

【０１２７】

（４）金融体系の資本プールを構成し、各銀行と金融周辺事業を参加させるように開放して、入札により、預金資金生産性用途（即ち、投資）へ流れるように効率的に導く。

【０１２８】

以上、好ましい具体例および例示のための添付の図面を参照して本発明について説明したが、これに制限されるものではない。当業者がその形態及び具体例の内容に対して実施した修正、省略や変更のいずれも、本発明の範囲を逸脱するものではない。

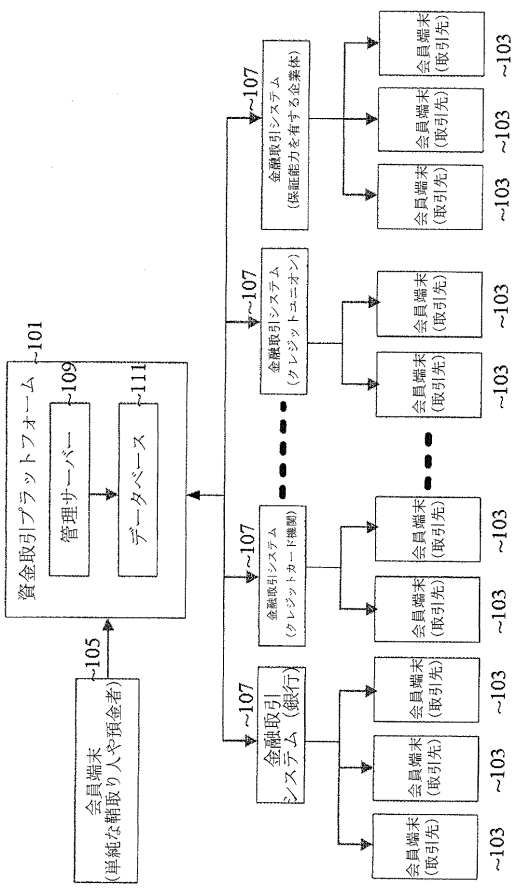
【図面の簡単な説明】

【０１２９】

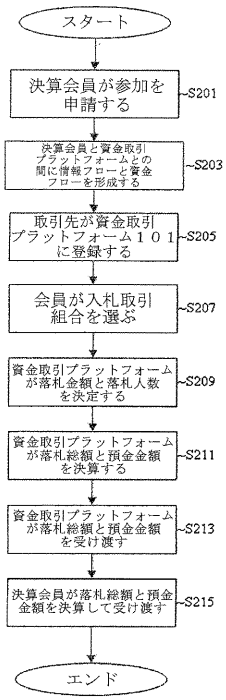
【図１】本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引プラットフォームを示す

ブロック図である。
【図２】本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引方法を示すフローチャートである。
【図３】本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引方法における決算会員が資金取引プラットフォームに加入する場合のフローチャートである。
【図４】本発明にかかる資本プールの自主的利率による資金取引方法における単純な鞘取り人や預金者が資金取引プラットフォームに加入する場合のフローチャートである。
【符号の説明】
【０１３０】
１０１・・・資金取引プラットフォーム、１０３・・・会員端末、１０５・・・会員端末、１０７・・・金融取引システム、１０９・・・管理サーバー、１１１・・・データベース。

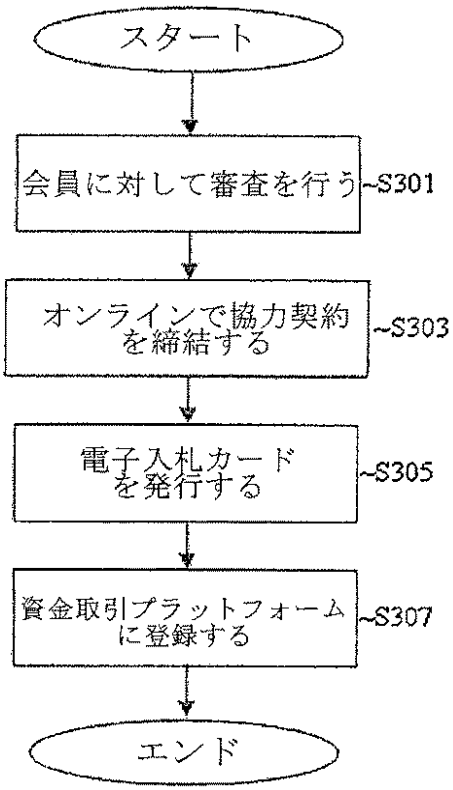
【図１】



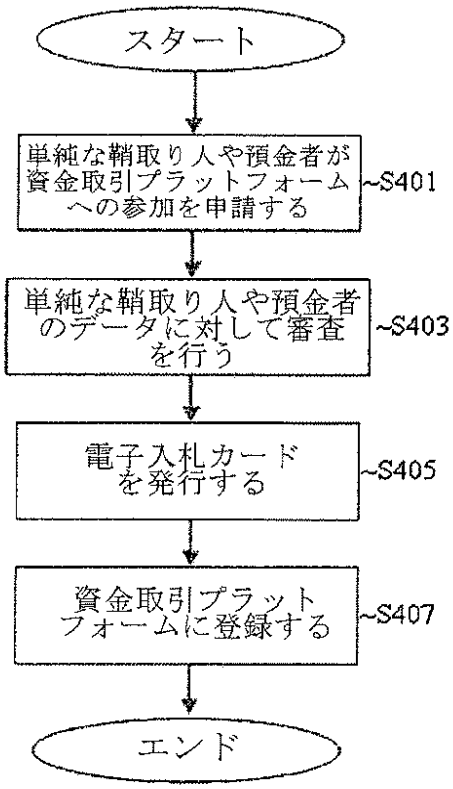
【図２】



【図３】


スタート
会員に対して審査を行う
~S301
オンラインで協力契約を締結する
~S303
電子入札カードを発行する
~S305
資金取引プラットフォームに登録する
~S307
エンド

【図４】


スタート
単純な鞘取り人や預金者が資金取引プラットフォームへの参加を申請する
~S401
単純な鞘取り人や預金者のデータに対して審査を行う
~S403
電子入札カードを発行する
~S405
資金取引プラットフォームに登録する
~S407
エンド